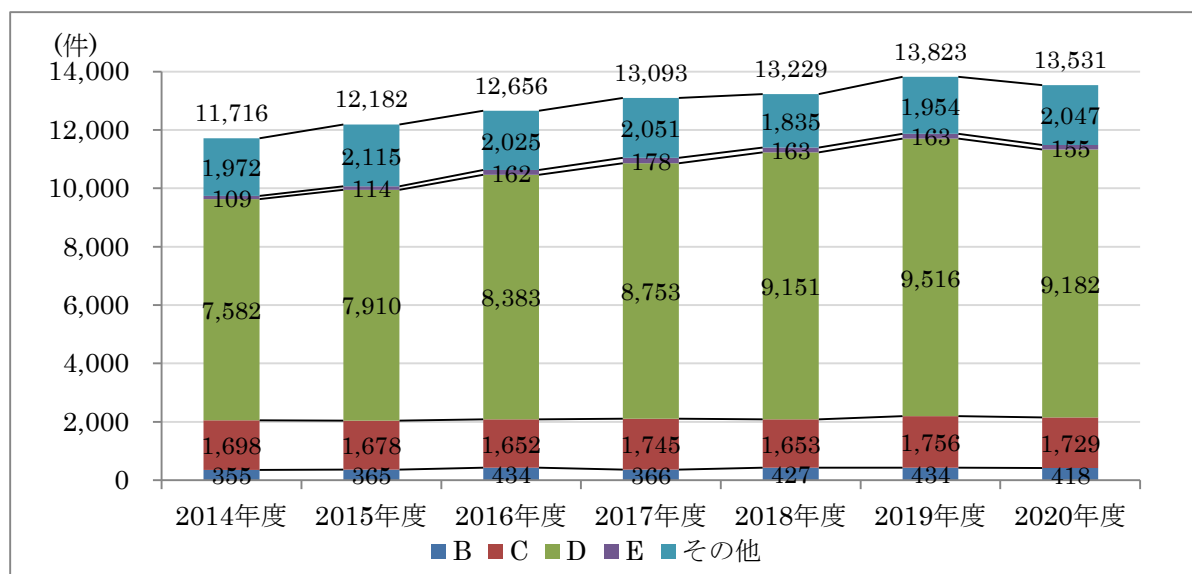


4 8. 手術室で実施された手術の技術度別件数



特定機能病院である当院は、手術の件数だけでなくどの程度難易度の高い手術に対応しているか評価を行うことも重要な指標である。手術の難しさと必要な医師数を勘案した総合的な手術難度を技術度といい、外科系学会社会保険委員会連合(外保連)が試案として5段階で発表している。その中でも特に技術度DとEに関しては、熟練した外科経験を持つ医師・看護師及び器具が必要である為、難易度の高い手術といえる。

2020年度は新型コロナウイルスの影響もあり、年間手術室利用件数は13,531件で前年度と比較すると手術件数は減少(2019年度比-292件)した。それに伴い技術度D、Eの手術も減少している。手術室を有効に活用し、手術室利用件数の増加を図ると同時に技術度の高い手術件数も増やすことが今後の課題である。

※その他(技術度なし)

単位：件

	口腔外科	先進医療・ ダヴィンチ(自費)	検査等
2014年度	224	129	1,619
2015年度	236	146	1,733
2016年度	237	164	1,624
2017年度	224	111	1,716
2018年度	249	67	1,519
2019年度	260	79	1,615
2020年度	245	31	1,771

データ提供：戦略企画部